

共生社会の実現に向けて

質問

共生社会は既に完成されたものでなく、今後、私たちが共に社会を築いていく際に目指すべき形だと思う。その中でも、幾つかの指標となる問題の一つに、男女平等の社会がある。

本市でも、平成19年度を初年度として愛西市男女共同参画プランが策定されている。進捗状況については。

総務部長

男女共同参画社会の形成においては、その意識とか認識度が重要だ。今の現状として

は、浸透しているとは言いがたい面もあるので、引き続き機会をとらえ啓蒙に努めたい。

質問

共生社会での指標となる問題として基本的人権の尊重がある。そのための関連機関の連携強化と共に、介護保険法の改正に伴い創設された地域包括センターでの取り組みは。

福祉部長

地域包括センターでは、高齢者の家族で、介護に関する相談や、権利を守る相談にも

質問

対応している。虐待防止と早期発見にも努めている。内閣府で提唱する共生社会を市としても、もっと市民一

企画部長

人ひとりの心が豊かに一つになつていくような行政からのメッセージは。地域の特性を活かし、豊か

市の歴史と文化の継承を

質問

本市の学芸員は、平成4年に「織田信長出生考」という論文を発表している。本年3月、稲沢市を中心としたボランティア団体「信長生誕を育む会」が誕生した。この団体とは、多々賛同できる点がある。是非、勝幡駅前開発の一部をその趣旨に合うものとしてどうか。

質問

市内の旧家の蔵から「愛知時事新聞」という地域紙が大量に見つかった。さらに次なる歴史資料が市内に眠っているのではないか。学芸員2人だけでなく、市の歴史と文化財産の保存・整理に取り組む対策の必要性は。

経済建設部長

信長生誕説については、勝幡駅前広場整備の中で活かしていく。北側駅舎周辺の空間に東屋の建設を予定しておりこの中に、勝幡城の模型の設置や勝幡城址などの歴史的な資料を案内板として整備

教育部長

合併前の旧町村時代から引き継いだ資料の保存、管理や合併以後、寄贈・寄託されました資料の整理や

な心をはぐくめる「まちづくり」を一つ一つ取り組んでいくことが、共生社会の実現に向けての取り組みと考えている。

保管を2名の学芸員はもとより、愛知県史編さん室や大学などとの連携も図りながら進めている。



竹村 仁司 議員



勝幡城復元図(嫁振橋欄干から)